

原発事故から1年
食のリスクと風評にどう向き合ったのか

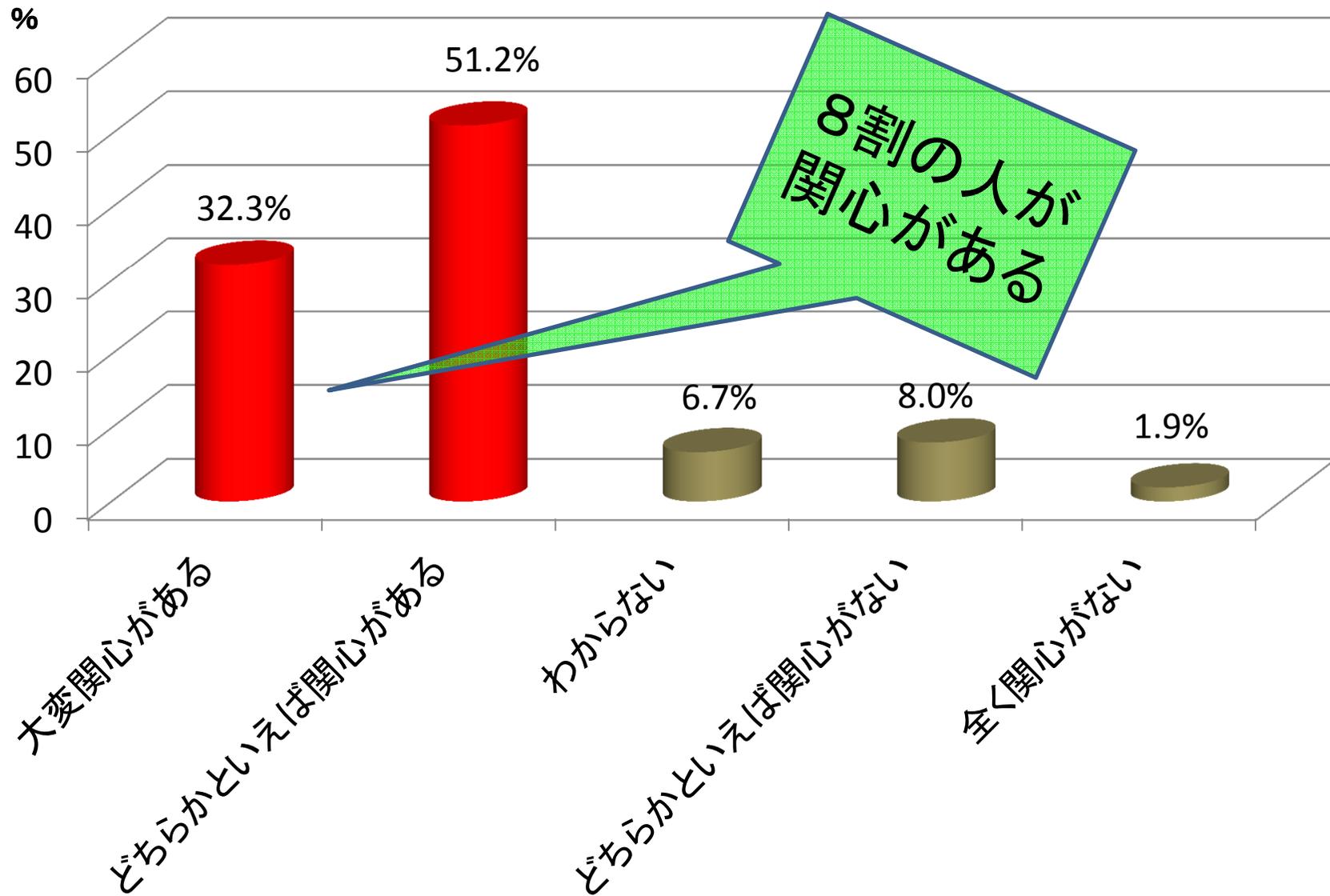
～ この1年を振り返り、今後を考える ～

財団法人 食の安全・安心財団

唐木 英明 ・ 森川 洋子

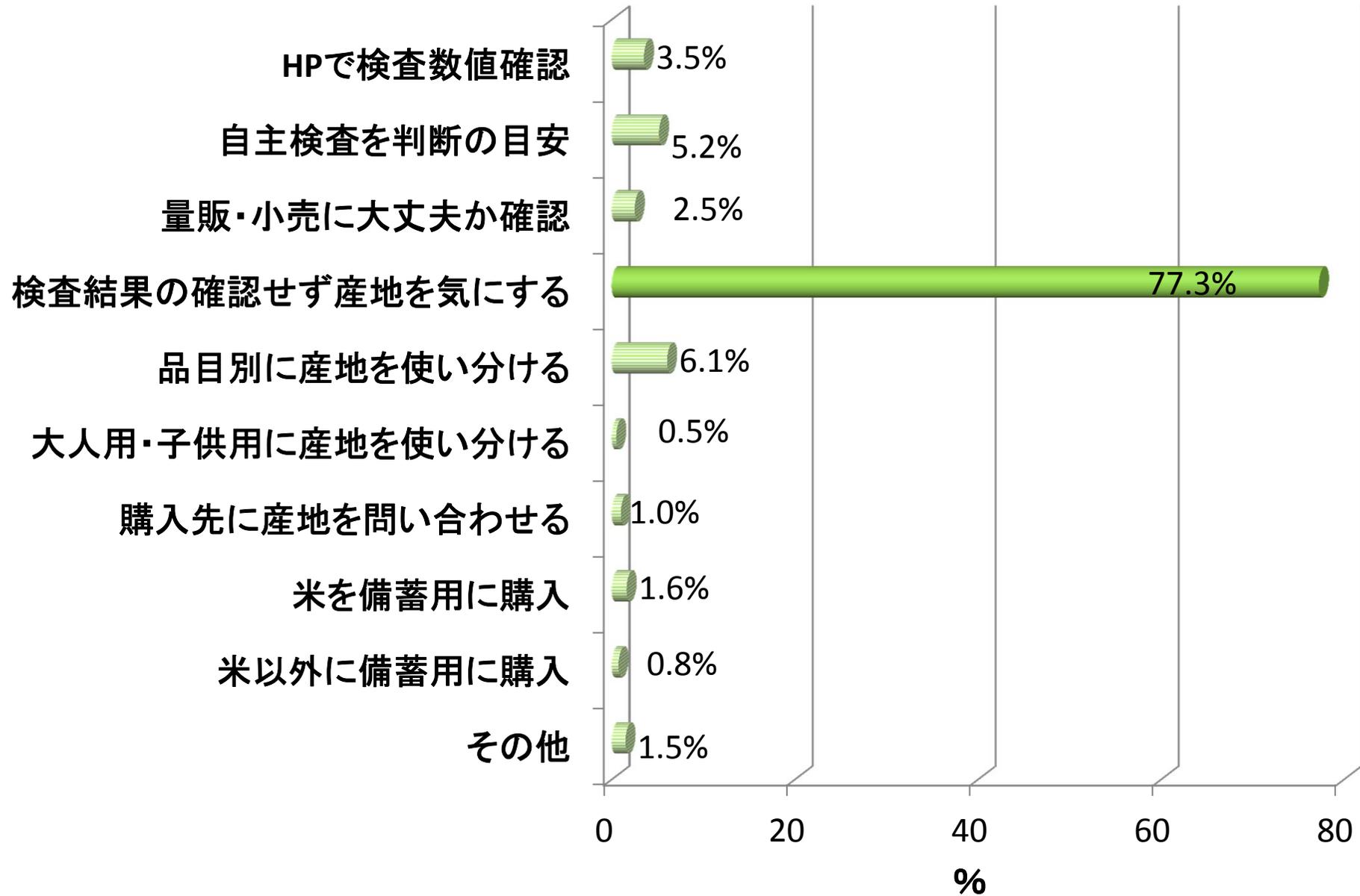
消費者

Q1 原発事故以来、放射能の問題について
どのくらい関心があるか

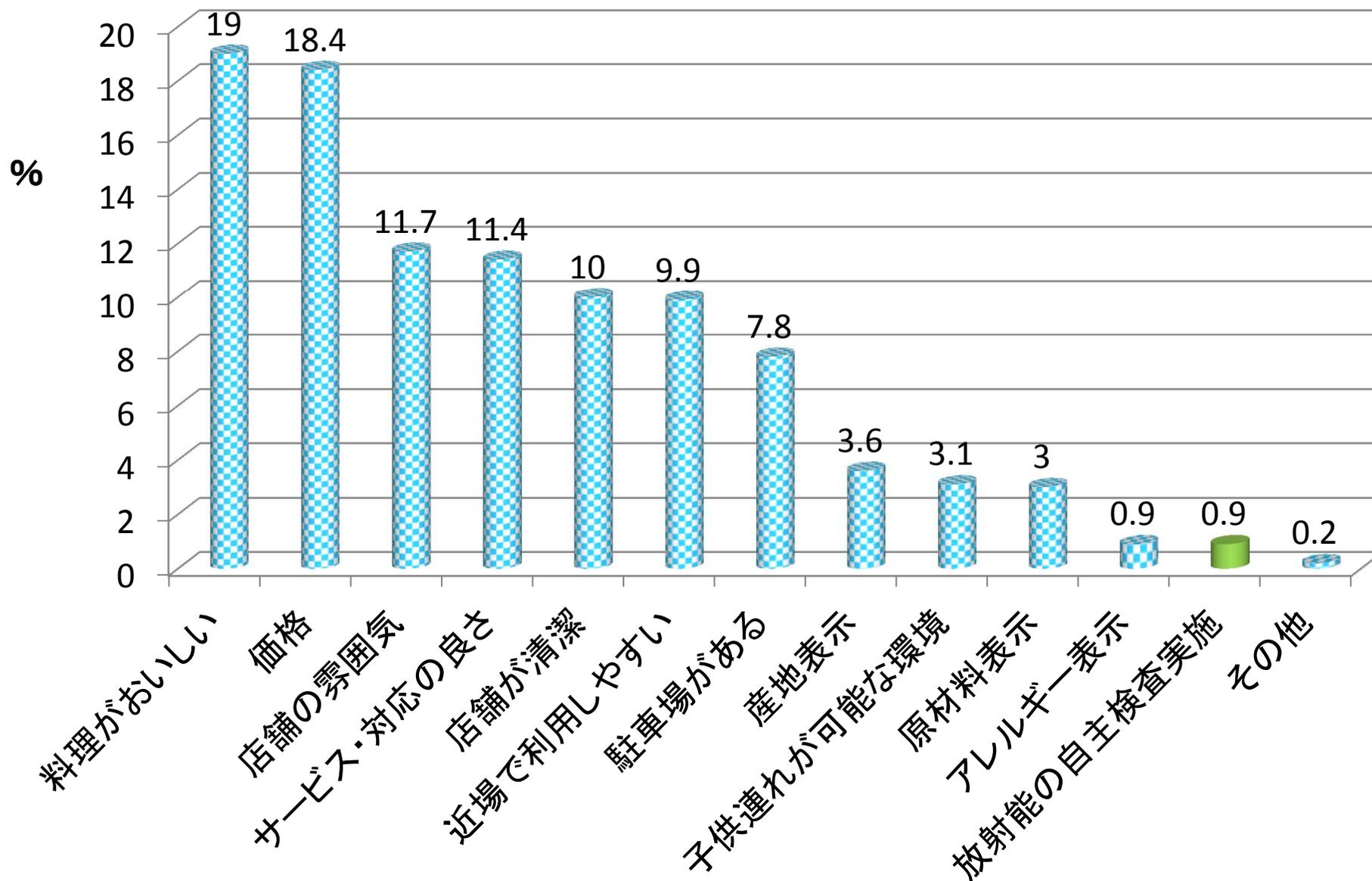


Q2 農産物購入の際、気をつけていること

(上位3つの回答の内、第1位集計)

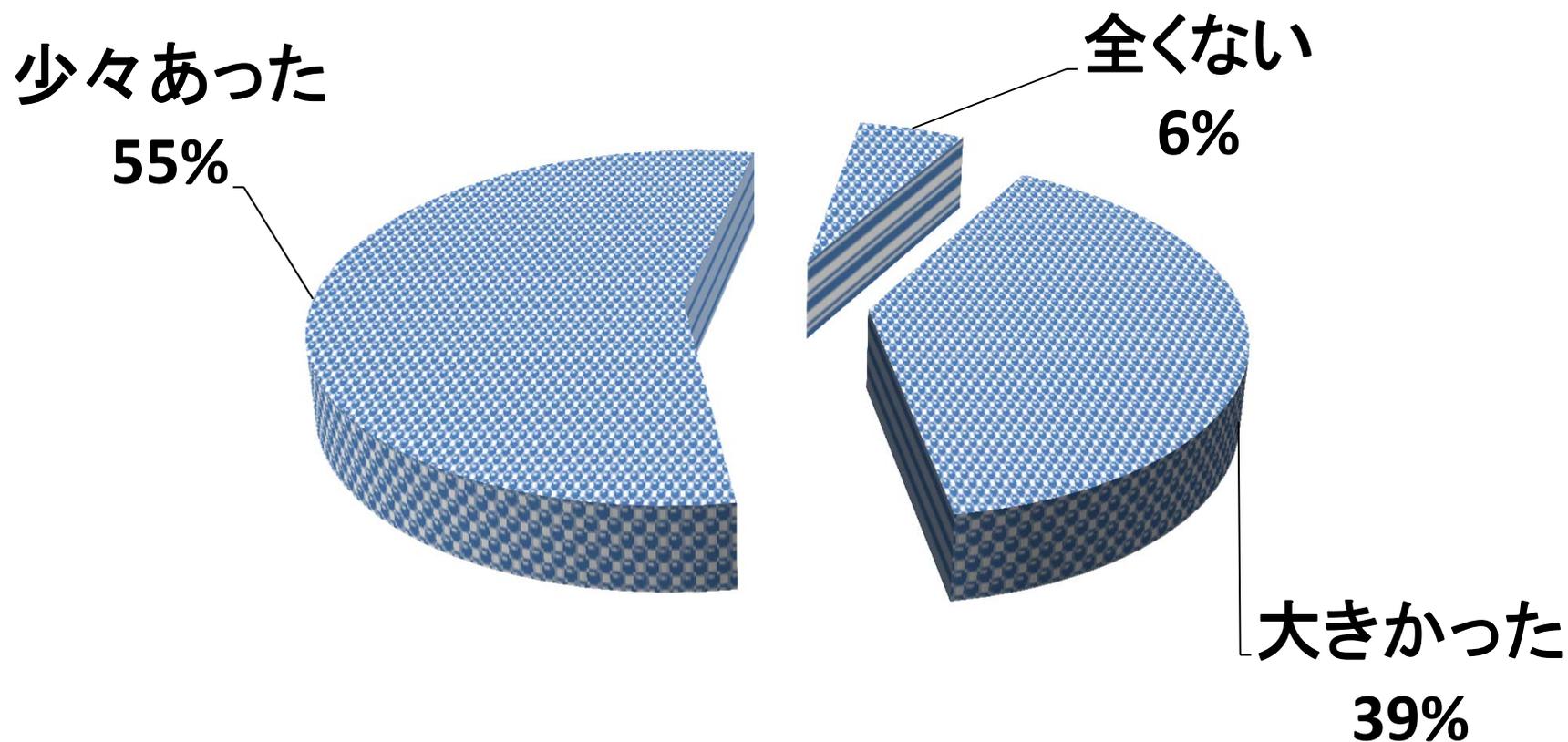


Q3 外食の際、気にしていること (複数回答)

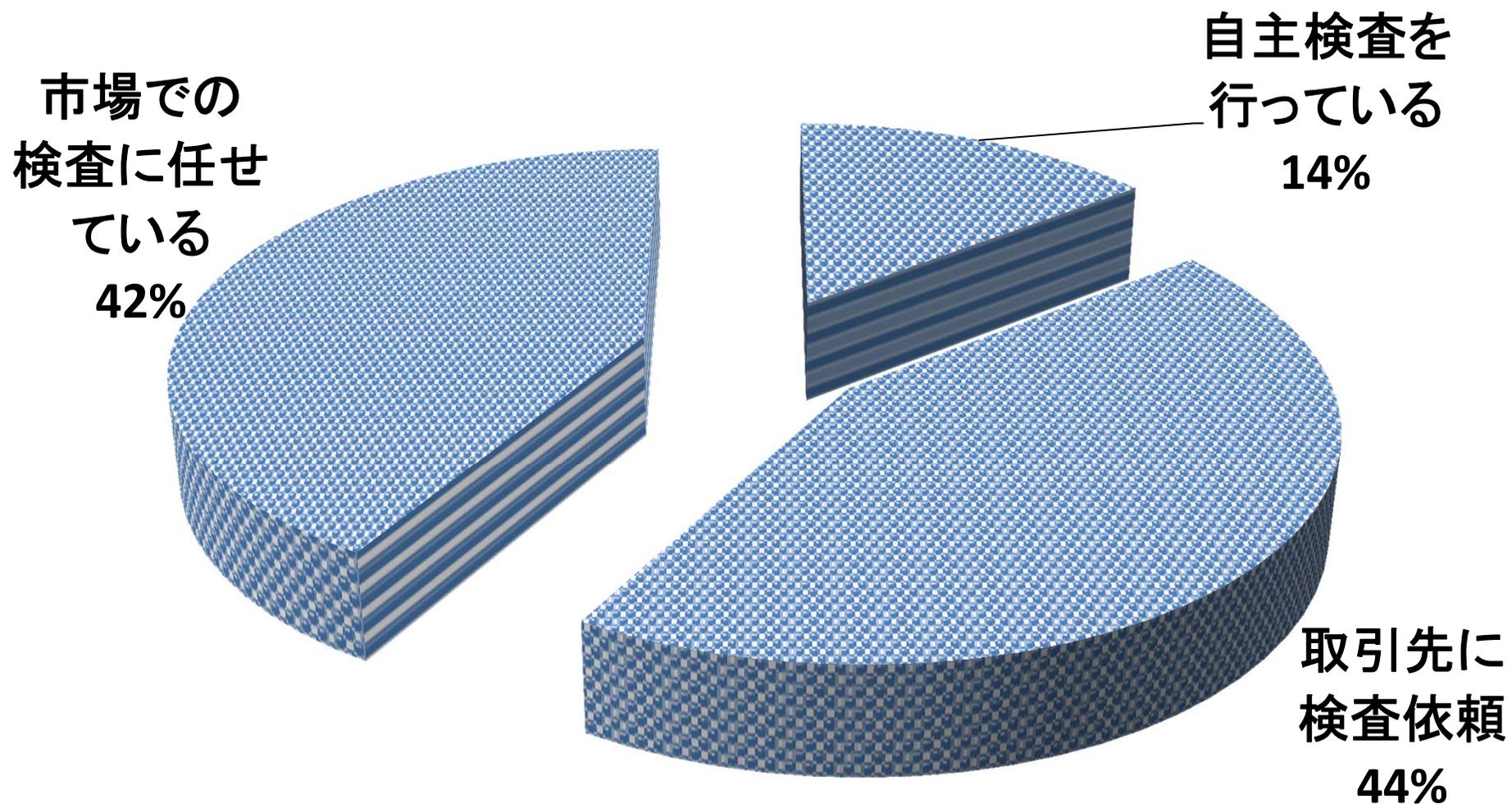


外食事業者

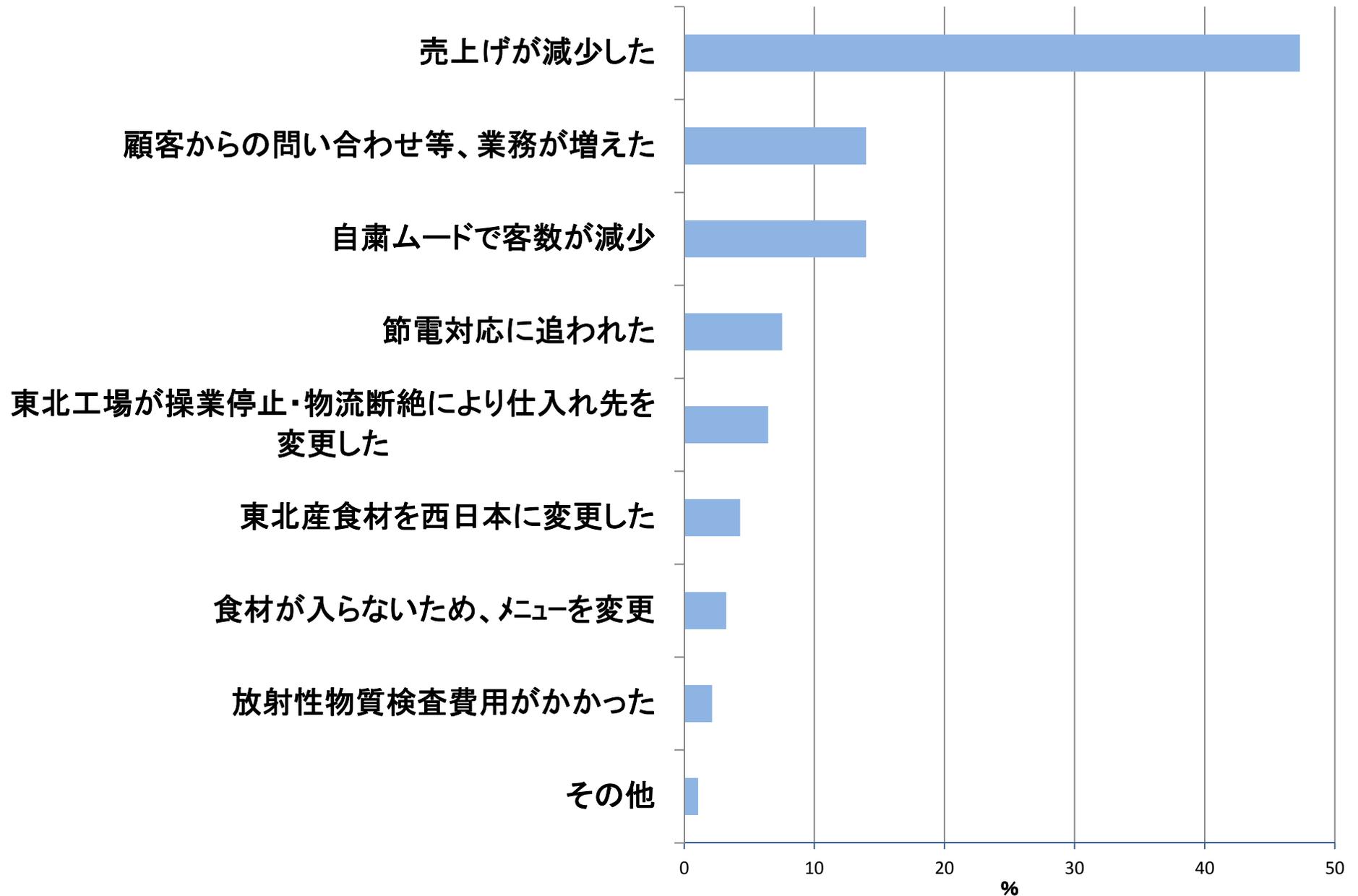
Q4 原発の影響はあったか



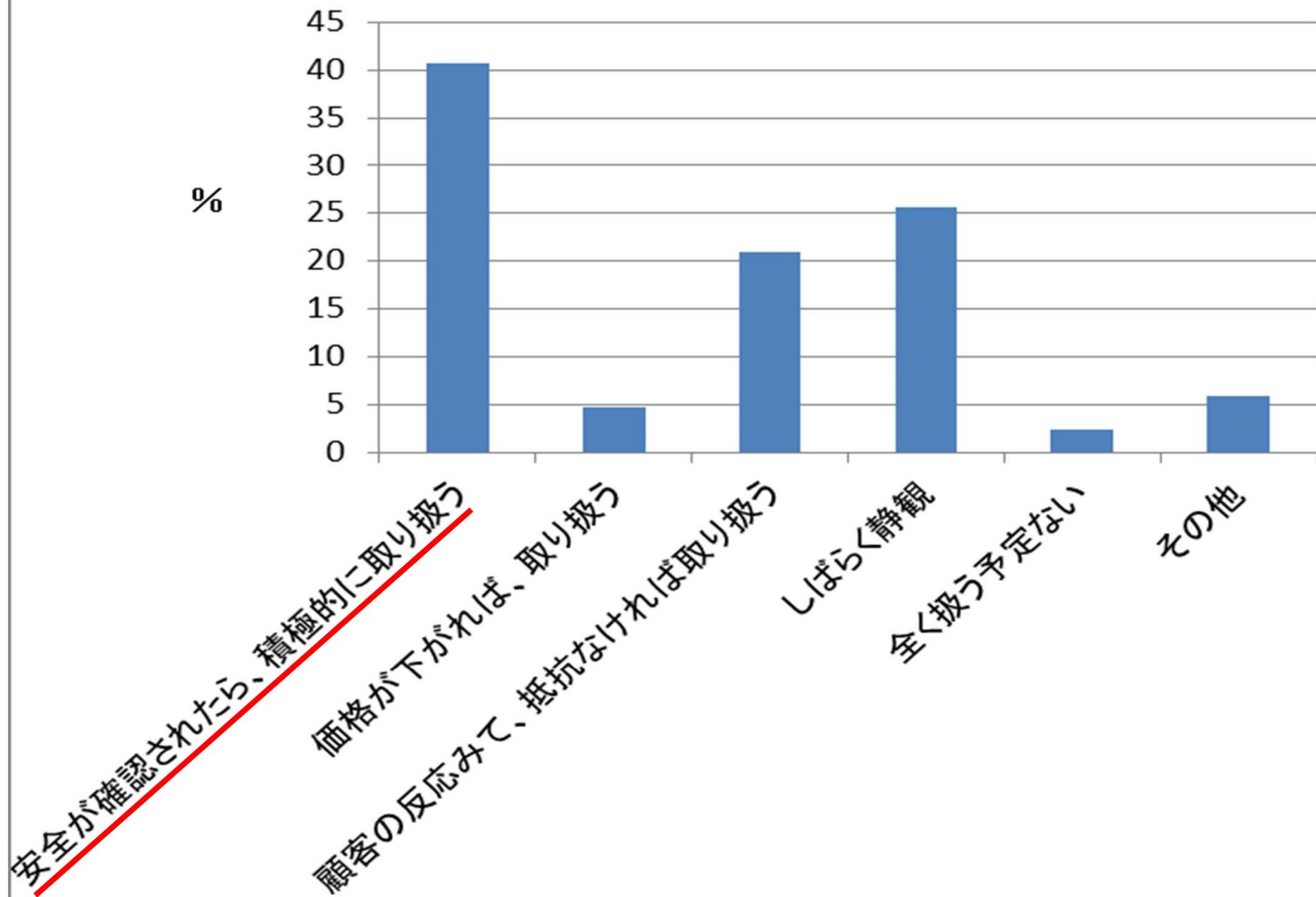
Q6 放射性物質検査に対する対応



Q5 どのような点で影響があったか 【第1位】

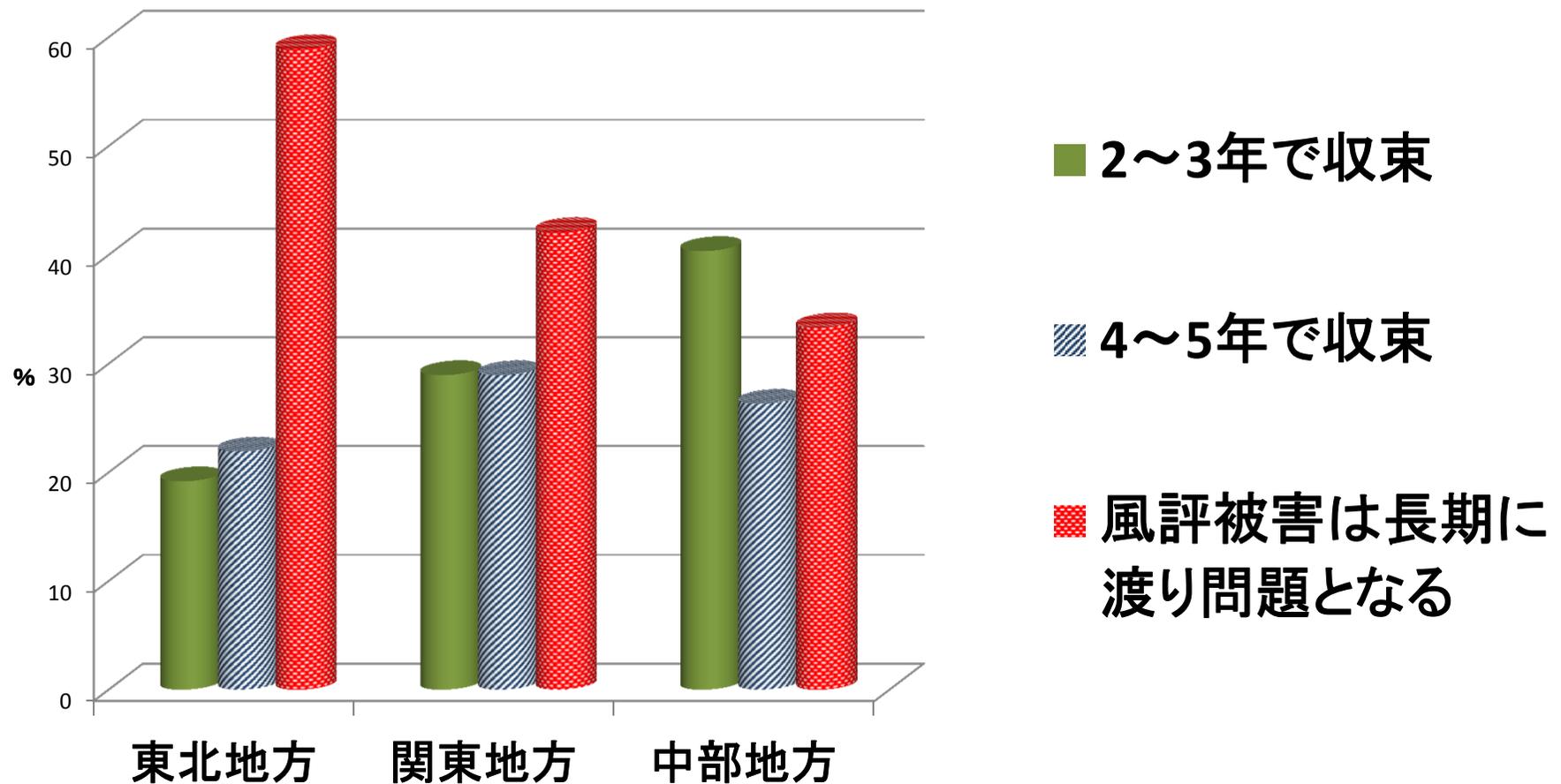


Q7 東日本農産物を今後取り扱う意向

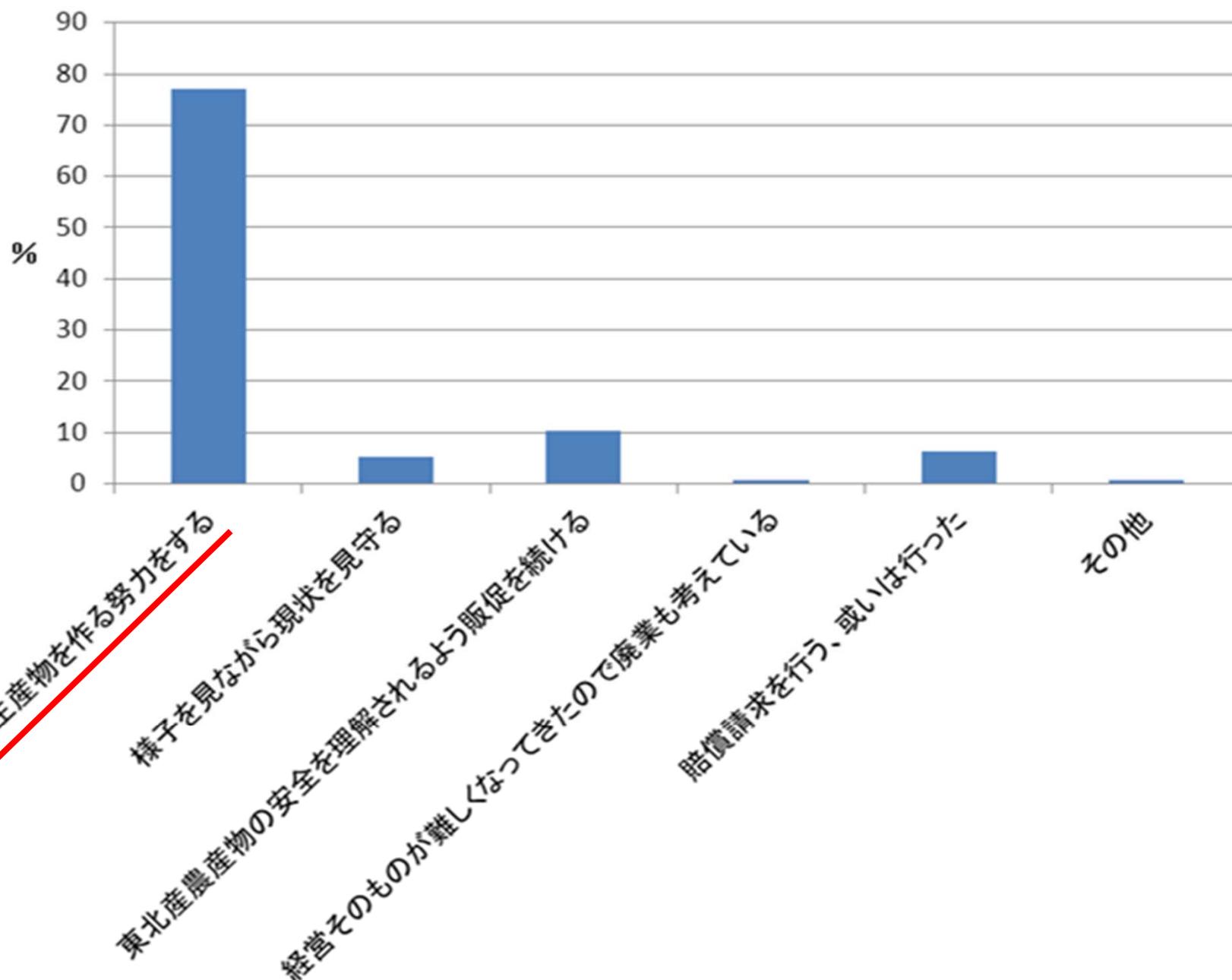


生産者

Q8 風評被害はどの位で収束すると思われるか×地方別



Q9 今後、風評被害の問題とどう向き合うつもりがあるか【第1位】



事業者と消費者

○「声高な少数」の消費者	
検査値を確認する（食品）	3.5%
検査値を気にする（外食）	1%
○「静かな多数」の消費者	
産地は気にするが検査値は気にしない	77%
○企業	
自主検査	15%
取引先に検査依頼	45%
	合計 60%

- ⇒ 企業もメディアも「声高な少数」に惑わされている？
- ⇒ すべきこと：福島の風評被害対策
- ⇒ それは全品検査ではない：では何？
- ⇒ リスクコミュニケーション＋政府の信頼回復